



2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Weekly Report Niigata



2016-17 年度
国際ロータリーのテーマ



2016～17 年度
新潟ロータリークラブ会長
宇尾野 隆

新潟 RC11 月第 5 例会 (2016.11.29) No.3161

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 宇尾野 隆会長挨拶

新潟の銘柄豚

先々週の 11 月 16 日～18 日まで朱鷺メッセで新潟市主催の FoodMesse という食品・食品機器の展示会が開催されました。

そこで、弊社の新商品(銘柄豚)越後米豚「こしおう」の展示を行ない、商品発表をさせていただきました。また、16 日には会場のセミナーコーナーでプレゼンの機会をいただきまして、新銘柄豚・越後米豚「こしおう」の説明をさせていただきました。後日、日本経済新聞の紙面で取り上げていただきました。本日 11 月 29 日は、いい肉の日ということで「新潟の銘柄豚」についてお話をさせていただきたいと思います。

銘柄豚とは飼料、品種、肥育される環境にこだわりブランド名をつけた豚であります。まず、全国にはどの位の銘柄豚があるのでしょうか？

有名なのは、鹿児島黒豚、岩手の白豚、東京の TOKYO X、沖縄のアグー豚、新潟の越後もち豚などがありますが、食肉通信社という業界紙が発行している、「銘柄豚ハンドブック」という銘柄豚のガイドブックがあります。

それによりますと、平成 12 年には 179 銘柄、平成 15 年には 208 銘柄、平成 17 年には 255 銘柄、平成 21 年には 312 銘柄、平成 24 年には 380 銘柄と年々その数は増加をしております。今では 400 以上の銘柄があると思われます。日本の全豚肉の 2 割程度を占めています。

新潟市は、全国県庁所在地のうち購入する食肉に占める豚肉の割合が、59.1%で全国第 1 位であり、最も豚肉を好む都市であります。新潟県の豚肉消費量は、1 世帯当たりで全国第 2 位であります。

そして、新潟県はあまり知られていませんが良質な豚肉の生産地であり、豚肉の品質レベルは、全国的にも高い地域であります。それは、自然環境や良質の水が豊富なせいでもあります。生産者の方が熱心で、よい飼料の研究、飼育方法の研究を以前から行なってきたためであり生産技術が全般的に高いと言えます。

それでは、次にそんな新潟県の銘柄豚をご紹介させていただきます。県内でどれぐらいの銘柄があるかは分かりませんが、私の知っているだけで 19 の銘柄があります。主だったものをいくつかご紹介させていただきます。

まずは、朝日豚です。生産者は朝日豚流通組合、生産エリアは、岩船郡関川村で年間出荷頭数は 1 万頭、出荷先はウオロク、新潟伊勢丹であります。

次に越後もち豚、新潟では最も有名な銘柄豚だと思います。生産者は、新潟ファームサービス(株)生産エリアは、新発田市とありますが、全県の生産農家に渡り、多くの農家に参加しています。年間出荷頭数は、9 万頭で県内最大であります。出荷先は、グローバルピッグファームという群馬県の企業です。3 番目は、北越後パイオニアポークです。生産者は北越後農業協同組合、生産エリアは、新発田市になります。年間出荷頭数は、65,000 頭、出荷先は JA 全農新潟県本部になります。

4 番目は、越乃黄金豚です。弊社の銘柄豚になります。生産者は、高橋農産で生産エリアは村上市、胎内市です。年間出荷頭数は 1 万頭であります。

次は、煌麦豚、こちらも弊社のブランドになります。生産者は、同じく高橋農産で、年間出荷頭数 3,000 頭になります。越乃黄金豚を改良し、良質な小麦だけで育てています。

次は、唯一新潟市の銘柄豚であります、しろねポークです。生産者は、新潟みらい農業協同組合、生産エリアは、新潟市南区、年間出荷頭数は、6,700 頭、出荷先はスーパーオンドール、新潟コープ畜産になります。

次は、深雪餅豚です。生産者は、吉田養豚団地組合で、生産エリアは魚沼地域であります。年間出荷頭数は、6500 頭、出荷先は(株)タカノであります。

実は、米山知事の実家は、養豚農家と肉店を営んでおり、この深雪餅豚を生産しております。米山知事自身もこの養豚会社セイジローの社長を努めています。食肉店の方は、セイジロー肉店というそうです。

次が、十日町の妻有ポークであります。生産者は、妻有畜産グループで、生産エリアは、十日町市であります。年間出荷頭数は、24,000 頭で、出荷先は JA 十日町、JA 津南、新潟コープ畜産です。

最後が、津南町のつなんポークであります。生産者は涌井畜産で生産エリアは、津南町です。年間出荷頭数は、7,000 頭、出荷・販売は自社で販売しています。

最近では、こしひかりを与えて育てた越光ポークの生産を行っています。

他にいくつかの銘柄豚がありますが、それぞれ出荷先が異なり、身近な小売店、量販店で販売されていないものも多くあります。又、小売店よりもホテル、レストラン等飲食店で多く出回っている豚肉も多くあります。なかなか食べ比べできるチャンスはないかもしれませんが、見つけたら味わってみるのも面白いかと思います。

豚の生産農家は、収益性や後継者の問題で、零細農家の多くは年々廃業せざるおえなくなっています。まして、TPP が実施されれば日本の豚肉のうち 8 割を占める銘柄化されていない、いわゆる一般豚と呼ばれる普通の豚は、輸入豚肉にとって変わると言われています。

優秀な生産技術をもった畜産農家を守るためにも豚肉の銘柄化は必要なのかもしれません。以上をもちまして会長挨拶とさせていただきます。

(3) 委員会報告

・秋山インターアクト委員長より 12月23日、新潟市内5校インターアクトクラブによる献血活動協賛金依頼があった。

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(高橋 秀樹副委員長)

登坂 直美君 鈴木 滋弥君

米山奨学会寄付発表(新田 幸壽委員)

徳山 啓聖君 徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(白勢 仁士委員長)

本間 彊君 白勢 仁士君

(5) 幹事報告(内田 直紀幹事)

12月よりロータリーレートが現行の1ドル=102円より106円に変更になります。

(6) 卓話「夢は牛のお医者さん」映画事業について

(株)テレビ新潟放送網

報道部チーフディレクター・監督

時田 美昭 氏



(7) 11月29日例会の出席率 69.15 %

会員数99名(出席免除会員 8名)

出席者65名(出席免除会員3名を含む)

(2週間前メーク後 86.46 %)

12月13日の例会予定

卓話「現代の結婚恋愛事情」

月下氷人 代表取締役社長 小山 淳子氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>